あなたのまちのアクティブシニア

「かもう女性の会」（姶良市）

「かもう女性の会」は、明治37年、蒲生小学校同窓会女子部を中心とした活動に始まり、平成8年に蒲生町婦人会から現在の名称に変更されました。同時に全国組織である生活学校に参加し、「蒲生生活学校」としても活動しています。

活動の原動力は、「蒲生大好き」という熱い郷土愛と、「できる人が、できる時に、できることを」を合言葉に、現在、会員91名で活動しています。

主な活動の一つ目に、環境浄化活動があります。「EM（安全で有用な80種類以上の微生物群）を活用し、環境の浄化」を行います。家庭排水は、川の源流であるという認識を持って、米のとぎ汁にEM活性液を使って発酵液を作り、掃除や洗濯等に使用しています。

また、EM土団子を作り、海の日に全国一斉に河川に投入しています。水生生物が増え、ホタルもたくさん見られるようになり、河川の浄化に役立っています。

蒲生地区の3小学校では、出前講座として、EM発酵液作りを、子供達と一緒に行います。発酵を待ってプールに投入し、プール掃除の際には、悪臭や苔の発生の少ないことを実感。環境教育の一助としています。

二つ目に、見守り活動があります。「蒲生ん子見守り隊」は、児童の登下校の見守り、挨拶・声かけをし、私達も子供達の元気な声や笑顔に励まされています。

また、「高齢者見守り隊」は、高齢者の安否確認やお話し相手、ゴミ出しの手伝い等をしています。四季折々に心を込めたメッセージカードをお届けし、大変喜ばれています。

三つ目に、リサイクル活動があります。日本一大楠どんと秋祭りでは、会場内のゴミ分別や食品容器の洗浄等を来場者と一緒に行い、生ゴミはEMを使って堆肥化を行っています。

今後、次の世代の会員を増やす広報活動や、各種団体との連携を図りながら、時代に即応した目標に向けて歩みを進めて参ります。「美しい環境と温かい和の心」を次の世代に手渡したいと願っています。

EM土団子 河川投入

EM発酵液作り

蒲生ん子見守り隊

<代表者>　山下　裕子
<連絡先>
姶良市社会福祉協議会
蒲生支所
☎ 0995-52-1400

このコーナーではすこやか長寿社会運動を実践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。

てのひら感謝状
「小さな親切」運動鹿児島県本部賞

素直に「ありがとう」を言えるように

尚志館高等学校　一年　山下　明海里

二年前の冬、新型コロナウイルスが流行し始めた。当時は、新しい感染症の流行に日本中、世界中の人々が対策をし、思うようにいかない生活を送っていた。この新型コロナウイルスは、私たちの普段通りの生活、人と人とのつながり、人々の優しさ、そして「ありがとう」という感謝の言葉を奪っていった。

コロナが日本でも流行し始めた頃、テレビをつければコロナのことばかりが報道されていた。みんなで感染症対策をすることを呼びかけるものや、陽性者の人数などのニュースが特に多かった。その中で一番私の心に残っているのは、コロナと最前線で闘う医療従事者とその家族への差別だ。本来ならば、私たちのために頑張っている医療従事者の方々へ感謝しなければならない。誰がどこで感染するかわからない、もしかしたら自分も感染するかもわからないのに、差別をしたり暴言を言ったりするのは本当に良くないことである。

コロナの状況下で、最前線で闘う医療従事者の方々、私たちのために一生懸命働いている方々。よく考えてみれば、私が今、生活できているのはたくさんの人の支えがあるからである。最近の私たちは、それが当たり前だと思い、支えてくれている人への感謝の心を忘れていると思う。

誰もが「ありがとう」を素直に言い、たくさんの「ありがとう」があふれている、そんな世界が早く実現してほしいと思う。